

平成30年度 一相生市立図書館

図書館だより (11月号)

〒678-0053

相生市那波南本町11番1号

電話 0791-23-5151

FAX 0791-22-7164

電子メール info@aioi-city-lib.com



<図書館カレンダー> ■ は、休館日。祝日も開館しています。開館時間 10:00~19:00
(11月) (12月)

日	月	火	水	木	金	土
*	*	*	*	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	*

日	月	火	水	木	金	土
*	*	*	*	*	*	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31	*	*	*	*	*



【2019年 NHK大河ドラマ『いだてん〜東京オリムピック噺〜』特集

主人公の金栗四三や1964年東京オリンピックに関する本を集めました。

新着本コーナーの横に特集していますので、ぜひご覧ください。



<11月の行事案内> ♪♪♪みんなおいでよ『子ども劇場』♪♪♪

日時	行事内容	場所
17日(土) 11:00~	トーンチャイム 『秋風コンサート』 グループ 相生トーンチャイム	3階 しちょうかく室
25日(日) 11:00~	おはなし会 えほん 『もりのなか』ほか おはなし 『ねずみ経』ほか	3階 えほんのへや(大人も入れます。) おはなしのへや (4才以上対象。大人は入れません。) ☆遅れた人は参加できません。

<2階 思索の広場コーナー>

●特集:『ニューヨーカー短篇集 I~III』 早川書房/編

希望があれば貸出しますので、1階カウンターで貸出し手続きをお願いします。

<読書会だより> 11月の読書会のご案内

★日時...11月10日(土) 10:30~12:00

★場所...3階 視聴覚室

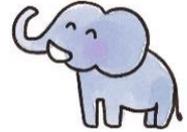
★課題図書...『高瀬舟』森鷗外(著)/集英社ほか

※読書会はどなたでも参加でき、当日参加も可能です。課題図書は事前に読んでおいてください。



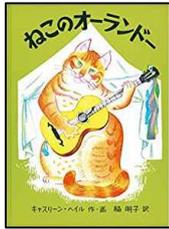


おすすめ本(児童書)



<対象*5才~> 『ねこのオーランドー』 [P-ハ]

キャスリーン・ハイル 作・画/脇 明子 訳/福音館書店



ねこのオーランドーは、奥さんと子どもをつれて一家全員でキャンプにいきたくなりました。けれども、オーランドーがいなくなるとねずみ退治ができなくなると考えたオーランドーのご主人は、なかなか首を縦に振りません。けれどもオーランドーがあきらめずご主人に訴え続けると、ご主人は電話でテントを一つ注文しました。そのテントは、もちろんオーランドー一家のキャンプのために買ってくれたものでした。そして準備万端整えて、出発の日がやってきました。オーランドーはテントをたてるのに一番良い場所を考えて選びました。キャンプ中は、川にもぐったり、虫たちと遊んだり、キャンプファイヤーをしたり大忙し。オーランドーたちは、キャンプを満喫して家に帰ります。

たのしいことがもりだくさんなキャンプの様子に、いつの間にか読んでいる私たちも、オーランドーと一緒にキャンプをしているような気分になってきます。シリーズがあります。

<対象*小学校低学年~>

『子どものためのラ・フォンテーヌのおはなし』 [P]

マーガレット・ワイズ・ブラウン 再話/アンドレ・エレ 絵/あべ きみこ 訳/

こぐま社

夏の間ずっと歌を歌ってすごしていたコオロギと、ずっと冬の間食べるものを集めていたアリ、見栄を張るためにウシのように大きくなりたいと願い、結局破裂するまでおなかをふくらませ続けたウシガエルのおはなしなど、17世紀フランスの詩人、ラ・フォンテーヌが、6歳の王子のために、みんながどこかで聞いたことがあるイソップの寓話などを詩としてまとめました。

動物を主人公にすることで、教訓的ですが説教臭くない物語として長く語り継がれたお話を『おやすみなさいおつきさま』など、これまた、多くの現在も読み継がれている絵本のテキストを手がけたマーガレット・ワイズ・ブラウンが再話しています。また100年近く前に描かれたと思えないほど力強くシンプルで現代的なさし絵が、物語をより深く理解する手助けになります。



<対象*小学校高学年~> 『カランポーのオオカミ王』 [P-グ]

ウィリアム・グリル 作/千葉 茂樹 訳/岩波書店

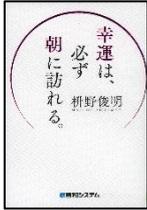


19世紀後期、開拓が進むアメリカ西部カランポー地方に“ロボ”と呼ばれる一頭のオオカミがいた。仲間を率いて何度も家畜を襲うがけっしてつかまらないロボは、魔法の力が備わっているとさえ言われ地元の人々に恐れられていた。

多くの人々がことごとくロボをつかまえることに失敗する中、博物学者、画家でもありそしてハンターでもあるシートンが、カランポーにやって来た。シートンは、地元のカウボーイたちの協力を得て、ロボの群れの行動の特徴などをとらえ、徐々にロボを追いつめていく。そしてとうとうロボの弱点を見つけたシートンは……。

見開きの大きな絵で大草原の広がりを見せたり、小さなコマ割りで個々のエピソードを再現するなど随所に絵本の特徴が生かされた、のちのシートンの生き方を決めたといえるロボとの戦いをメインに描いた伝記絵本。

おすすめ本(一般書)



『幸運は、必ず朝に訪れる。』 柘野 俊明・著/秀和システム/188

毎朝のひと工夫。それだけで人生を美しく変えることができる！
30分程度の早起きで、心身が整い、運気が集まる、禅の知恵に基づいた超シンプルな開運術を紹介する。

『江戸の想像力』 田中 優子・著/筑摩書房/210.5

近世的なるものとは何だったのかー。平賀源内と上田秋成という同時代の異質な個性を軸にしなが、博物学・浮世絵・世界図・読本といったさまざまなジャンルの地殻変動を織り込んで、江戸18世紀の外国文化受容の屈折したありようとダイナミックな近世の〈運動〉を描いた傑作評論。



『血流がすべて整う食べ方』 堀江 昭佳・著/サンマーク出版/490

食事を見直して血流を整えると、体の不調や心の悩みが解決し、本当に自分の望んでいる人生を実現できるようになります。90年以上続く漢方薬局の薬剤師が、血流を整えるために何を、どのように食べるかを紹介します。

『ゼロからトースターを作ってみた結果』

トーマス・トウェイツ・著/村井 理子・訳/新潮社/500

時間にして9か月、移動距離にして3060キロ、金額にして1187.54ポンド(約15万円)をかけ、地中から原材料を掘り出すところから、加工・組み立てまで、全部自分の力でトースターを作る過程を紹介する。



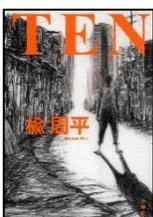
『監禁面接』

ピエール・ルメートル・著/橘 明美・訳/文藝春秋/953ール

たどり着いた大手企業の最終面接は何と「重役会議の襲撃」!? 失職して4年、最後のチャンスに懸ける57歳のアランは必勝の策を練るが…。

『緑の花と赤い芝生』 伊藤 朱里・著/中央公論新社/F-イ

リケジョでバリキャリアの志穂子と、家庭に重点を置く杏梨。女としてのスタンスが異なる二人が、志穂子の兄と杏梨の結婚で交わった時、彼女たちは何を思い、動くのか? 女性のリアルをえぐり出す。



『TEN』 榎 周平・著/小学館/F-二

ホテルの次期社長に見出された小柴俊太は、〈異物〉とされつつ、独創的なアイデアと度胸で実績を挙げ、出世をする。ところが会社は上場廃止の危機に。背後にはある人物の裏切りが…。

